



平成 20 年 12 月 15 日

各 位

会社名 株式会社パイブドビッツ
代表者名 代表取締役社長 佐谷 宣昭
(コード番号 3831 東証マザーズ)
問合せ先 情報取扱責任者 青木 宏実
(TEL 03-5771-6931)

グリーン IT の促進における 株式会社ビットアイルおよびジーコンシャス株式会社との協業に関するお知らせ

株式会社パイブドビッツ(代表取締役社長:佐谷宣昭 本社:東京都港区 以下「当社」)は、株式会社ビットアイル(代表取締役社長:寺田航平 本社:東京都港区 以下「ビットアイル」)およびジーコンシャス株式会社(代表取締役:井手敏和 本社:東京都渋谷区 以下「ジーコンシャス」)と、グリーンITの促進活動において、下記のとおり協業することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 協業の背景と目的

当社は、サーバーやネットワーク機器の集約効果の高い、情報資産管理ASP/SaaS(注1)「スパイラル・メッセージングプレース(R)」(以下「スパイラル(R)」)を提供しております。当社は平成20年12月12日に発表しましたとおり、スパイラル(R)の利用と自社サーバーを導入した場合を比較し、CO2排出量93%の削減効果があることを実証いたしました。この実証結果により、当社はスパイラル(R)がお客様に対して本質的な環境負荷低減効果を提供できるサービスであると認識し、環境保全と事業活動の調和を促進すべく、グリーンIT基本方針を制定いたしました。

ビットアイルは、自社のインターネットデータセンターにおける最新式の空調・電気設備の設置および導入により、省エネ・CO2削減に積極的に取り組んでいます。

ジーコンシャスは、カーボンオフセットをツールにITを活用したビジネス支援やグリーンマーケティング事業を展開しています。

この度ビットアイル、ジーコンシャス、および当社は、3社が持つ特徴を活かし有機的な連携を図ることで、IT活用による本質的な環境負荷低減を普及・促進し、地球環境の保全にさらに積極的に貢献していくことを目的として、協業することといたしました。

2. 協業の内容

(1) 省エネ・CO2削減効果の可視化

当社とビットアイルは、当社が提供するサービスの省エネ・CO2削減効果を数値的に測定し、サービスを利用されているお客様ごとにその効果を可視化する取り組みについて協力いたします。

ジーコンシャスは、ビットアイルおよび当社が提供するサービスがもたらす省エネ・CO2削減効果についての測定、およびCO2排出権取引の動向の把握について協力いたします。

(2) エコ化・カーボンニュートラル化への相互協力

ビットアイルは、当社が提供するサービスに対して、CO2排出量の少ないインターネットデータセンター環境を提供いたします。

ジーコンシャスは、当社が提供するサービスのカーボンニュートラル化の取り組みに対する助言とカーボンオフセットサービスなどを提供いたします。

(3) IT活用による省エネ・CO2削減のネットワーク構築

ビットアイル、ジーコンシャス、および当社は、省エネ・CO2削減につながるビジネスモデルを有する他のITサービス事業者と連携し、IT活用による省エネ・CO2削減の普及・促進活動の拡大を目指してまいります。

3. 今後の見通し

この度の協業が当社の平成21年2月期業績に与える影響は軽微であると想定しておりますが、新たな関連事項が発生した場合、もしくは業績の修正が必要となることが判明した場合には速やかにお知らせいたします。

(注1) ASP(Application Service Provider)

インターネット等のネットワークを通じて、アプリケーションソフトウェアや付随するサービスを顧客に提供する事業者。

SaaS(Software as a Service)

ソフトウェアをユーザー側に導入するのではなく、プロバイダ側で稼働し、ソフトウェアの機能のうち必要なものだけをユーザーにネットワーク経由で提供するサービス。

【会社概要】

会社名	：株式会社ビットアイル	会社名	：ジーコンシャス株式会社
所在地	：東京都港区東新橋 1-9-2	所在地	：東京都渋谷区代官山町 4 - 1
代表者	：代表取締役社長兼CEO 寺田 航平	代表者	：代表取締役 井手 敏和
事業内容	：総合ITアウトソーシング事業	事業内容	：カーボンオフセットプロバイダ
設立年月日	：2000年6月	設立年月日	：2007年11月
資本金	：27億1,169万円	資本金	：2,800万円（資本準備金含む）
証券コード	：3811（大阪証券取引所ヘラクレス）		

【関連リリース】

平成20年12月12日 「スパイラル(R)のCO2排出量93%削減効果を実証」

http://www.pi-pe.co.jp/news/backnumber/20081212_02.html

以上